

日伊文化交流作品展 2025

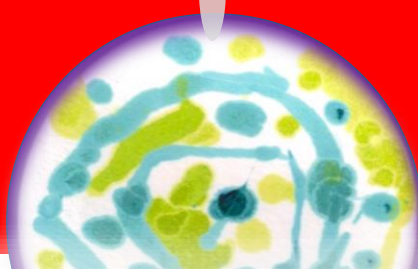
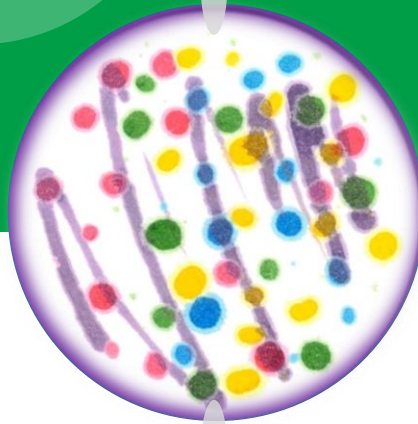
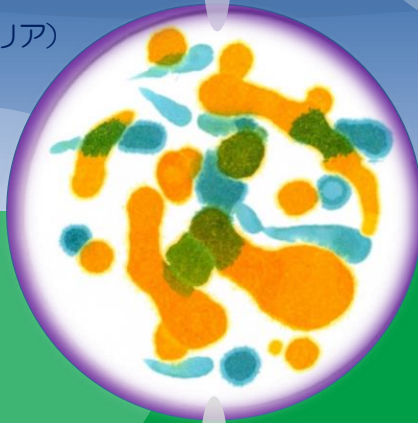
小学校 マリア・テレサ・カルクッタ（イタリア）

中学校 宗像市立自由ヶ丘中学校

保育園 (株) smile りんな保育園（熊本市）

大 学 福岡教育大学

主 催
福岡教育大学 松久研究室



令和7年 1月25日（土）－ 2月13日（木）

9：00 － 18：00 【月曜休館】

海の道 むなかた館 体験学習室（観覧無料）

日伊文化交流作品展について

レッジョ エミリア市は、イタリア北部に位置する歴史ある都市で、幼児教育に関する実践と研究は世界的に高く評価されています。未来を担う子どもたちの教育を重視して、幼児の保育環境や地域ぐるみの支援体制が充実しており“アトリエリスタ”と呼ばれる芸術専門家と担任による共同保育が特徴です。近年、この幼児教育の内容は小学校にも展開され、子どもたちの個性を尊重した教育を実践しています。こうした教育を継続し、広く社会に浸透させることで、レッジョ エミリア市は多くの芸術家を輩出するとともに芸術と教育の街として有名です。

今回の『日伊文化交流作品展』は、2014年に福岡教育大学美術教育講座と連携体制にあった宗像市の小学校3校と、レッジョ エミリアの小・中学校の『交流児童画展』からはじまり、宗像市・福津市の全小学校へと拡大して合計4回の展覧会を開催するに至りました。大学の大幅な予算削減などの影響もありいったん中止としましたが、近隣の小中学校や“海の道むなかた館”の協力を得て、2018年度より交流作品展として再開することとなりました。

2023年度はレッジョ・エミリア・アプローチの国際センターとして世界から研究者が集まる Centro Internazionale Loris Malaguzzi を会場として、5月に『自然のビジョン』と題した展覧会を実施して、高い評価を得ることができました。

2024年度は『自然とアートを通した世界観』をテーマに交流を継続し、本展覧会では宗像市立自由ヶ丘中学校 ならびに (株) smile りんな保育園(熊本)および系列保育園の協力を得て、マリア・テレサ・カルクッタ小学校(イタリア)の子どもたちの作品とともに交流作品を展示いたします。また、未来の学校園の教育を担う福岡教育大学の学生たちの授業作品も合わせて展示します。今回展示した作品は、5月に予定するイタリア展において展示したのち、連携するイタリアの小学校で活用されます。

日本・イタリア双方の子どもたちが、それぞれの国や町、そこで暮らす人々に興味を持ち、さらに豊かな感性が育つことを目的としております。子どもたちが表現した作品には、楽しくて美しい未来を予感させる世界が表されています。

どうぞ、ごゆっくりとご鑑賞ください。

令和7年1月 主催者



主催 福岡教育大学松久研究室 問合せ 0940-35-1444 (美術科事務室)

会場 海の道むなかた館 福岡県宗像市深田 588 番地 0940-62-2600